

平成30年度(2018年度)

一般社団法人 宇部市スポーツコミッション

事業報告書

令和元年(2019年)5月

## I 総括

宇部市スポーツコミッションは、2014年10月7日に、官民連携のネットワーク組織として発足した。

本コミッションは、宇部市が掲げる「スポーツを楽しむ元気なひとの元気なまち・宇部市」と「健幸長寿のまち宇部」の実現に向けて、年齢や性別、障害の有無等に関わらず、関心、目的等に応じてスポーツに参画することができる機会を拡大し、市民の健康づくり・体力づくり、地域活性化、並びに、共生社会の形成を、市と協働してより一層推進するため、2018年11月1日に、法人格を取得し体制を強化した。

2018年度は、一般社団法人移行後最初の年度でもあり、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び定款を遵守した健全な運営に努めるとともに、これまでの任意団体の財産・事業を継承し、定款に定める目的を達成するための各種事業を着実に実施した。

また、2019年度以降の一般社団法人としての自主的な運営を目指し、スポーツビジネスの創出のための基盤づくりを行った。

## II 事業概要

定款第4条に掲げる5事業について、具体的に以下のとおり実施した。

### 1 スポーツによる市民の健康増進・体力づくりに関する事業

誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、スポーツをすることで心身ともに元気な人を育てていくため、気軽に楽しむことができる参加型イベントや、体力に応じたスポーツ・レクリエーション活動を通じて、継続的にスポーツに取り組むきっかけづくりや仲間づくり、多世代交流の場を提供した。また、「する」「観る」「支える」という点から、それぞれの楽しみ方や関わり方を啓発することで生涯にわたる市民のスポーツ参画を促進した。

さらに、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、スポーツへの関心を全市的に広げ、スポーツ実施率の向上を図った。

#### (1) ジュニアアスリートのためのスポーツ障害予防セミナーの実施

成長期におけるスポーツ障害を予防するためのケアとトレーニングについて、スポーツ専門医による講義とトレーナーによる指導を実施することとして2018年度は、市内の小・中学生及び保護者、指導者

を対象に、レノファ山口のチーフドクターである森脇透医師による、サッカーで起こりやすい怪我を知る講義と、トレーナーによるウォーミングアップの指導等を行った。

開催日：2018年12月9日（日）

場 所：宇部興産中央病院 スポーツリハビリテーション室

参加者数：22

## (2) オリンピアン・トップアスリートを招致した子ども夢教室の実施

オリンピック・トップアスリートによるイベント・教室を開催し、スポーツの素晴らしさや感動を与えるとともに、スポーツへの関心を深めた。

実施日：2019年2月15日（金）

実施校及び参加者数：常盤中学校（453名）、厚南中学校（424名）

オリンピック：

奥原希望（おくはらのぞみ） バドミントン選手

リオデジャネイロオリンピック女子シングルス銅メダル

第23回世界選手権女子シングルス優勝

## (3) スナッグゴルフ教室の実施

ゴルフのルールやマナーを基礎から学ぶ初級プログラムを、小中学生を対象に連続講座で実施した。スナッグゴルフのクラブを使用し、ゴルフスイングの基礎から習得させ、ジュニアゴルファーの育成を進めた。（実施中）

上期（4月～8月）：10回 ※実施済

下期（9月～3月）：10回 ※9回実施済（10回目は3/23予定）

参加者数：上下期各8名

負担金：6,000円

## 2 スポーツによる交流の促進と地域活性化に関する事業

スポーツを通じて、人や地域の交流を活発にすることで、元気なまちを創っていくため、市内の多様な地域資源（自然や食など）を活かしたスポーツイベントや、観るスポーツの楽しさや魅力を伝えるためのツアーを実施した。また、観光に関わる各主体を包括的にマネジメントする宇部DMO協議会と連携し、地域資源とスポーツ、観光を組み合わせたスポーツ・ヘルスツーリズムを推進した。

(1) サイクルポイントラリーの実施（市委託事業）

スマートフォンを活用したサイクルポイントラリー大会をサイクル県やまぐち Project の一環で開催した。（実施中）

① らくらくサイクリング

実施期間：2018年10月13日（土）～11月17日（土）

参加者数：300名

② 1DAYライド

実施日：2018年11月18日（日）

参加者数：30名

③ 春のらくらくサイクリング

実施期間：2月16日（土）～3月17日（日）

参加者数：262名

(2) レノファ山口応援バスツアーの実施（中型バス：定員27人）

2018年11月11日（日） ホーム最終戦 参加者数：25名

2019年2月24日（日） ホーム開幕戦 参加者数：19名

(3) スポーツ合宿に対する支援

スポーツ合宿等のため市外から本市を訪れるスポーツ団体を支援することにより、市内への合宿等の誘致を促進し、スポーツによる地域活性化を図った。 補助件数 0

上限：1団体1回あたり50,000円

(4) スポーツ・ヘルスツーリズムの企画

2019年度に実施する地域資源とスポーツ、観光を組み合わせたツーリズムを企画し、準備を進めた。

○スポーツうべたんの実施

平成31年4月2日～6月26日

全16プログラム延べ33日実施予定

(5) スポーツゴールデンイヤーズに向けてのマーケティング

2019年のラグビーW杯、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2021年のワールドマスターズゲーム（概ね30歳以上のスポーツ愛好家が参加する生涯スポーツの国際大会）には全世界からの訪日が見込まれる。これらの大会後の滞在による交流創出のための大会誘致など、宇部DMO協議会と連携して検討した。

### 3 スポーツによる共生社会の形成に関する事業

宇部市は、国が2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、共生社会の実現を推進するために新設した「共生社会ホストタウン」に登録されており、アートとスポーツを柱とした心と街のバリアフリー化に取り組み、誰もが生き生きと暮らせる共生社会の実現を加速していくこととしている。このため、パラリンピアンとの交流、パラスポーツの体験などを通じて、障害者スポーツの推進と理解の促進を図るための事業を展開した。

#### (1) パラスポーツ体験会の開催

パラスポーツの体験を通じ、障害者に対する市民の理解と、障害者スポーツへの関心を促進するとともに、2020年に開催される東京パラリンピックに向けて機運を醸成した。

##### ○パラスポーツパークの開催

開催日：2019年2月17日（日）

開催場所：ときわ湖水ホール

参加者数：約700名

#### (2) パラリンピアン交流会の開催

パラリンピアン・パラアスリートを招致し、市内の小中学校で講演及び体験会などのパラアスリートとの交流の場を創出することで、障害者スポーツへの親しみを深め、共生社会への関心と理解を促進した。

実施校及び参加者数：見初小学校（55名）、神原小学校（42名）岬小学校（55名）

日程：2019年2月25日（月）～26日（火）

パラリンピアン：上原大祐（うへはらだいすけ）パラアイスホッケー選手

バンクーバー パラリンピック銀メダル

### 4 スポーツ・健康分野の活動を担う人材育成及び確保に関する事業

年齢や障害の有無など、多様なニーズに対応できる、スポーツ・レクリエーション指導者など、スポーツを支える人材の確保・育成、活躍の場の創出に取り組んだ。

#### (1) 人財バンク登録者の活用

豊富な知識と経験、専門性を有する指導者、講師等を「人財バンク」

に登録し、地域や事業所に派遣した。

派遣者数：7名

参加者数：710名

## (2) 会員及び人財バンク登録者の資質向上のための研修会の実施

ユニバーサルマナー、ダイバーシティ、コンプライアンス、CS向上などの基礎的な研修に加え、スポーツを取り巻く諸課題（子どもの体力の二極化、ロコモ度、フレイル予防など）についてスポーツ医科学の観点から学べる研修会や、共生社会の形成につながる研修会を実施し、正会員及び人財バンク登録者の資質向上を図った。

○CS向上研修会の開催

開催日：1月16日（水）

参加者数：13名

## 5 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### (1) 情報発信

ホームページやフェイスブック、インスタグラムなど社会に広く普及している電子媒体を活用して、リアルタイムに情報を効率的に発信する。更に、マスメディアや全国組織等を通じて効果的に情報を発信した。

○ホームページ訪問者数：1680人/月

○フェイスブック「いいね数」636人

○インスタグラム：フォロワー数：403人

### (2) 調査研究

より多くの市民がスポーツを通じて健康増進・体力づくりに取り組めるよう、2019年度に実施する事業の企画・準備・調整を進める。

○鹿児島県全国スポーツ推進委員研究協議会出席

パネルディスカッションにて、当コミッションの活動を紹介した。

聴講者数：約300名

### (2) その他

法人運営上必要な会計処理、税務処理その他法的手続きなどに対応できるよう、職員の知識や技能の向上を図った。

また、職員全体が組織の健全・円滑な経営感覚を持ちながら、常に予算等の進捗管理を念頭において、業務に取り組んだ。